

実施日：4月～3月	
教科等：特別活動	
取組名：わんぱく遊び（縦割り班での全校遊び）	
対 象：全校児童	実施場所：運動場・体育館・各教室
ア ねらい 異学年児童でわんぱく班を構成し、互いの良さを認め合い、協力、実践力、思いやりの心、責任感を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>異年齢交流が行えるように、全校児童で班編成する。</li> <li>全校児童を各学年の児童がなるべく均等になるように24班に分け、6年生・5年生が班長・副班長となり、班活動をリードする。</li> <li>班分けは、兄弟姉妹や従兄弟は同じ班にならないように配慮する。</li> <li>夏祭り集会などの児童会主催の行事の中でも、わんぱく班での活動を取り入れる。</li> <li>遊びの内容は、1回目の活動日に班員で相談して決め、準備物や進め方などは、高学年が時間を見つけて考える。</li> <li>今まで学年で行っていた竹馬大会をわんぱく班でできないかと考えるなど代表委員会での議題に挙げ、自分たちで考える場をつくる。</li> <li>校内の掲示板に「わんぱく遊びコーナー」を作り、集合写真での班員の紹介や次回の遊びの日などを知らせている。</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭 全校児童	
エ 連携にむけての取組 学級通信、校報等で取組を保護者に紹介し、児童がより良い友だち関係を広げてくれることや人の役に立てることをしていくなど、次の取組につなげていくことを家庭にも知らせていく。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して活動する日を設定し、行事等で不都合があれば日の変更をし、実施回数が減らないようにして活動時間を確保する。</li> <li>高学年には、地区別下校や朝の登校班などで、低学年が困っていることがないかなど、異学年集団の中でのリーダーとしての意識もつように声かけをする。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活での様子</li> <li>学校生活アンケート</li> <li>一日のふり返りノート</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生が毎日終わりの会で書いているふり返りノートの記述を見ると、夏祭り集会でのがんばりや次の集会に向けての意欲が見られる。</li> <li>日々の登下校や学校生活において、低学年の児童に対する思いやりのある声かけや行動を見かけることが増えてきた。</li> <li>2、3学期には、運動会の児童会演技やわんぱくランチを提案し、5年生もリーダーとして活動できた。</li> </ul>	
ク 課題 5・6年生がわんぱく班のリーダーとなっているが、1学期の計画立案は6年生が中心だったので、最初から5年生も活躍できるように、来年度は4月の児童会活動の開始から意識して取り組みたいと思う。	

## わんぱく遊び（縦割り班での全校遊び）

### 1 はじめに

本校は、児童会活動の一つとして「わんぱく遊び」と名付けた縦割り遊びを実践しているが、これは20年間近く続いている恒例の活動である。今年度も、児童会活動の中の一つの取組として実践を積み重ねているところである。



わんぱく遊びコーナーの掲示板

### 2 取組

#### (1) 児童会活動計画

- ①児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営…詳細は省略
- ②異年齢集団による交流

##### ア わんぱく班の組織

- 全校児童を各学年の児童がなるべく均等になるように24班に分ける。
- 6年生・5年生が班・副班長となり、班活動をリードする。
- 班分けは、(6年-4年-1年)(5年-3年-2年)とし、兄弟姉妹やいとこは、同じ班にならないように配慮する。

##### イ 児童会集会活動

- 月2回の全校児童集会
  - ・1回目は、児童朝会。委員会や学年の活動状況の報告や連絡をする。
  - ・2回目は、わんぱく遊びの日とする。月中行事に入れる。
  - ・わんぱく班（縦割り班）を作成し、そのグループで活動する。
- 学期に1回程度集会を開く。(不定期に業間休みや昼休みを使用したミニ集会を開く)

#### (2) わんぱく遊びの実践

##### ①顔合わせ（体育館）

1回目に班のメンバーが集まり、自己紹介や年間計画の話合いをした。時間が余った班は簡単にできる遊びをし、最後にグループ写真を撮り、次回の遊びの確認をした。



体育館で班ごとに集合しています。



班で輪になり、高学年のリーダーが司会をして自己紹介をしたりや年間計画を立てたりしています。

##### ②各班に決められた場所（教室など）での活動

わんぱく班には担当教師がいるが、実際の活動は、リーダーである高学年の児童が進める。場所は、教室や図書室が割り当てられ、遊びの時は机や椅子などを動かし場所の設定をする。



各班で考えた遊びをしています。いろいろな遊びがありました。

[別紙②]

③夏祭り集会（体育館と各教室を meet で繋ぐ）

もうすぐ夏休み  
～夏祭りをはじめよう！集会～

日時：7月14日（月）  
業間休み～3時間目  
場所：わんぱく班の教室

～プログラム～

1. はじめの言葉
2. 神レンジャー（meet で）
3. 的当てゲーム
4. 伝言ゲーム
5. 終わりの言葉



体育館と各教室を meet で繋いでいます。夏祭り集会が始まり、それぞれの活動場所で大型テレビを見ています。

実際にはイラスト入りの手作りのチラシです。



人気者「神レンジャー」が各教室を回ってくれました。子どもたちは大喜びです。「神レンジャー」は、神岡小学校児童会の歴史あるキャラクターです。



的  
当  
て  
ゲ  
ー  
ム

伝  
言  
ゲ  
ー  
ム



（6年生のふり返りノートより）

- ・ 夏祭り集会が上手くできてよかったです。的当てゲームや伝言ゲームは、下の学年をまとめるのが大変だったけど楽しかったです。
- ・ 今日、夏祭り集会で、神レンジャーや校長先生の似顔絵をかくのがおもしろかったです。わんぱく遊びでこんなことができるのはそんなにないので、またこういう機会があるといいです。

[別紙③]

④運動会児童会演技（わんぱく班）



わんぱく班の中で、異学年の子とペアや3人組になって競技しました。

⑤わんぱくランチ（わんぱく班での給食）



わんぱくランチについての提案をしています。職員朝会の時に職員室に来て、先生方に期日ややり方等の説明をしています。

この日は、1・4・6年のわんぱく班です。

企画委員会での活動の感想（5年生）

- ・ いろいろなイベントに向けて準備するのは大変だったけど、成功したときはすごく達成感がありました。
- ・ 運動会のわんぱく班での全校競技は、自分たちが準備した種目をみんなが楽しんでやってくれたのがうれしかったです。
- ・ 5年生ははじめは少しはずかしかったり緊張していたりしたけど、6年生が下校の時の司会や校長先生とのあいさつをすすんでやってくれてすごくやりやすかったです。6年生が企画のアイデアなどを出してくれて楽しそうだと思います。来年は最高学年になるので、もっと自分たちで準備を進められるようになりたいです。

3 成果と今後の課題

6年生が毎日終わりの会で書いているふり返りノートの記述を見ると、夏祭り集会でのがんばりや次の集会に向けての意欲が見られた。5・6年生がわんぱく班のリーダーとなっている中で、計画立案は6年生が中心だった。2・3学期は運動会や竹馬大会などの行事にもわんぱく班で取り組むことができないかと考え、5年生にも企画の段階からもっと関わらせたいと思い進めてきた。

また、最後のわんぱく班活動となったわんぱくランチは、1回目（1年・4年・6年）の楽しかった様子を聞いたのか、2回目に実施する学年の児童から「早くしたいなあ。」という声も聞かれ、来年度もいろいろなわんぱく班活動を実施していきたいと思う。

課題としては、計画立案から準備に係る時間なども含め時間の調整が難しい時もあり、教師間の連携や協力がより大切になってくると思う。